

自然公園のあり方検討 の背景等について



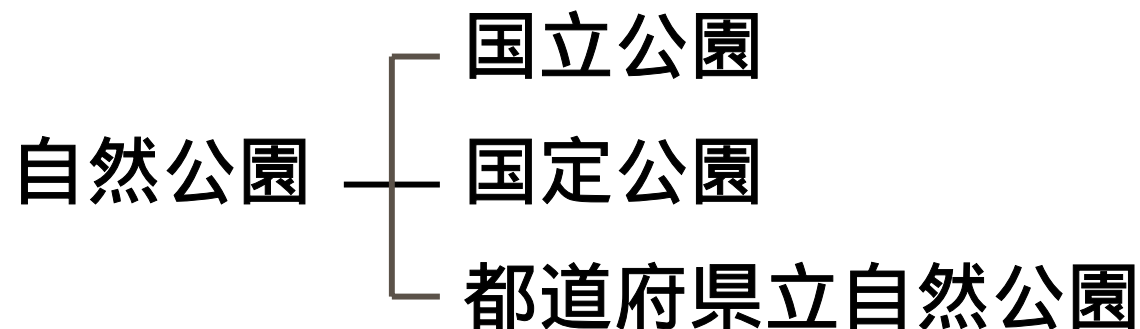
自然環境部会資料

2001年12月10日

自然公園とは

自然公園法に基づき

- すぐれた自然風景地を保護し、
- 利用の増進を図り
- 国民の保健、休養及び教化に資することを目的として
- 指定される地域制公園



自然公園の形態

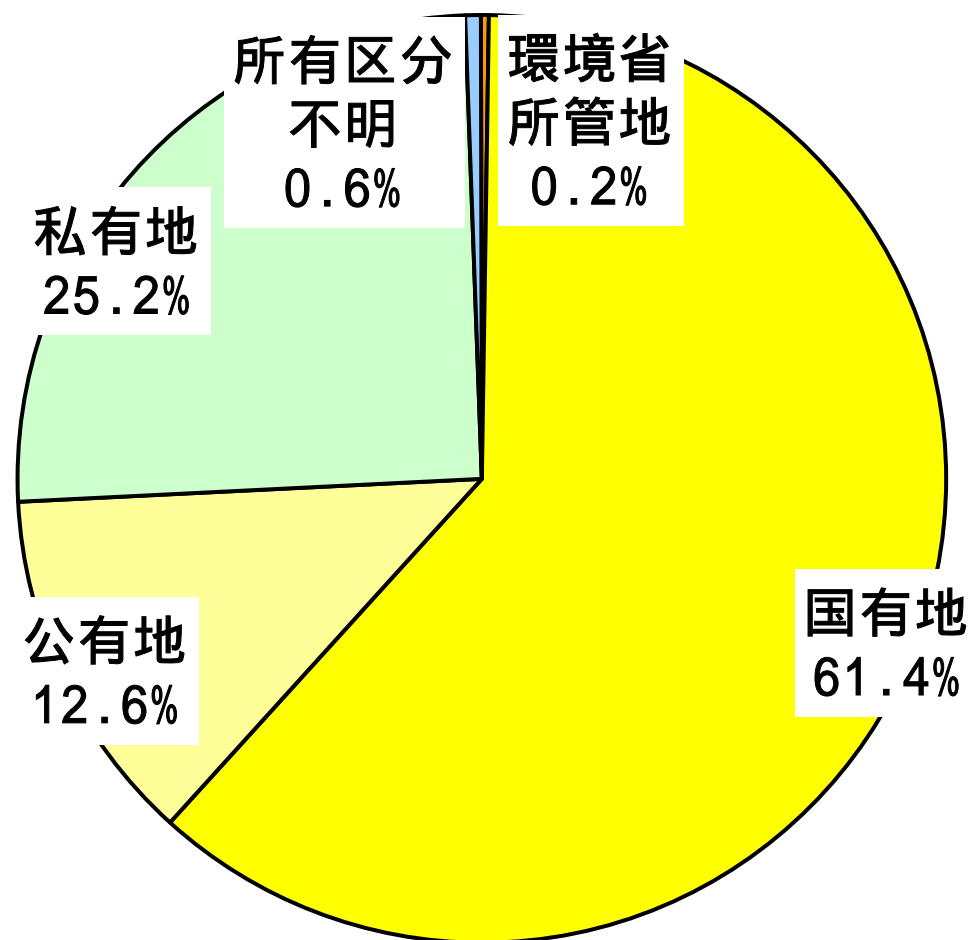
「地域制」公園

- 公園当局が土地を占有することなく、一定の条件を備えた地域を指定し、公用制限などにより管理する方式
- 公園内にある国民の財産権及び種々の産業との調整が管理上重要
例) 日本、イギリス、韓国等

「営造物」公園

- 公園当局が土地を占有し管理する方式
例) アメリカ、カナダ、ニュージーランド等

国立公園所有者別面積

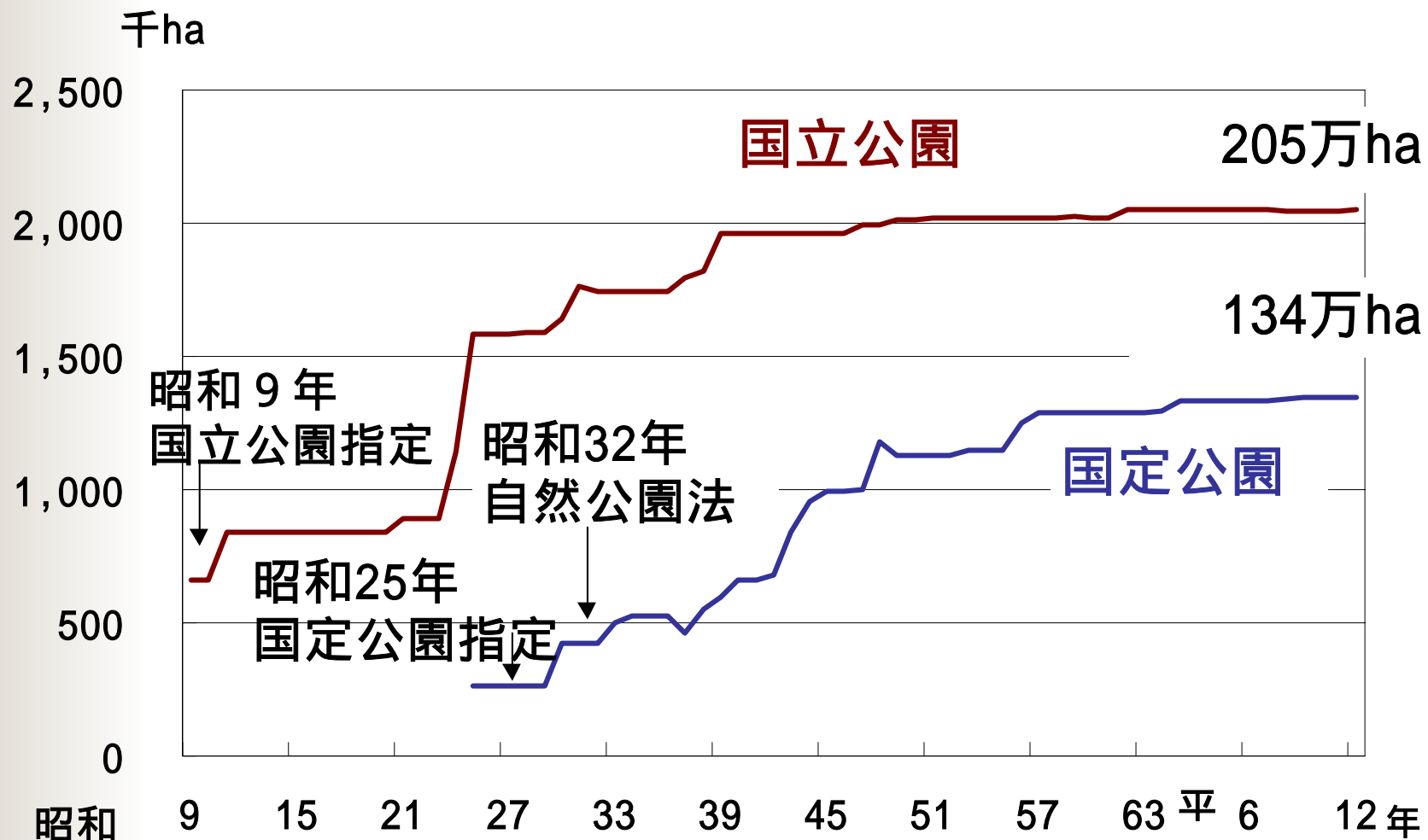


計2,051千ha

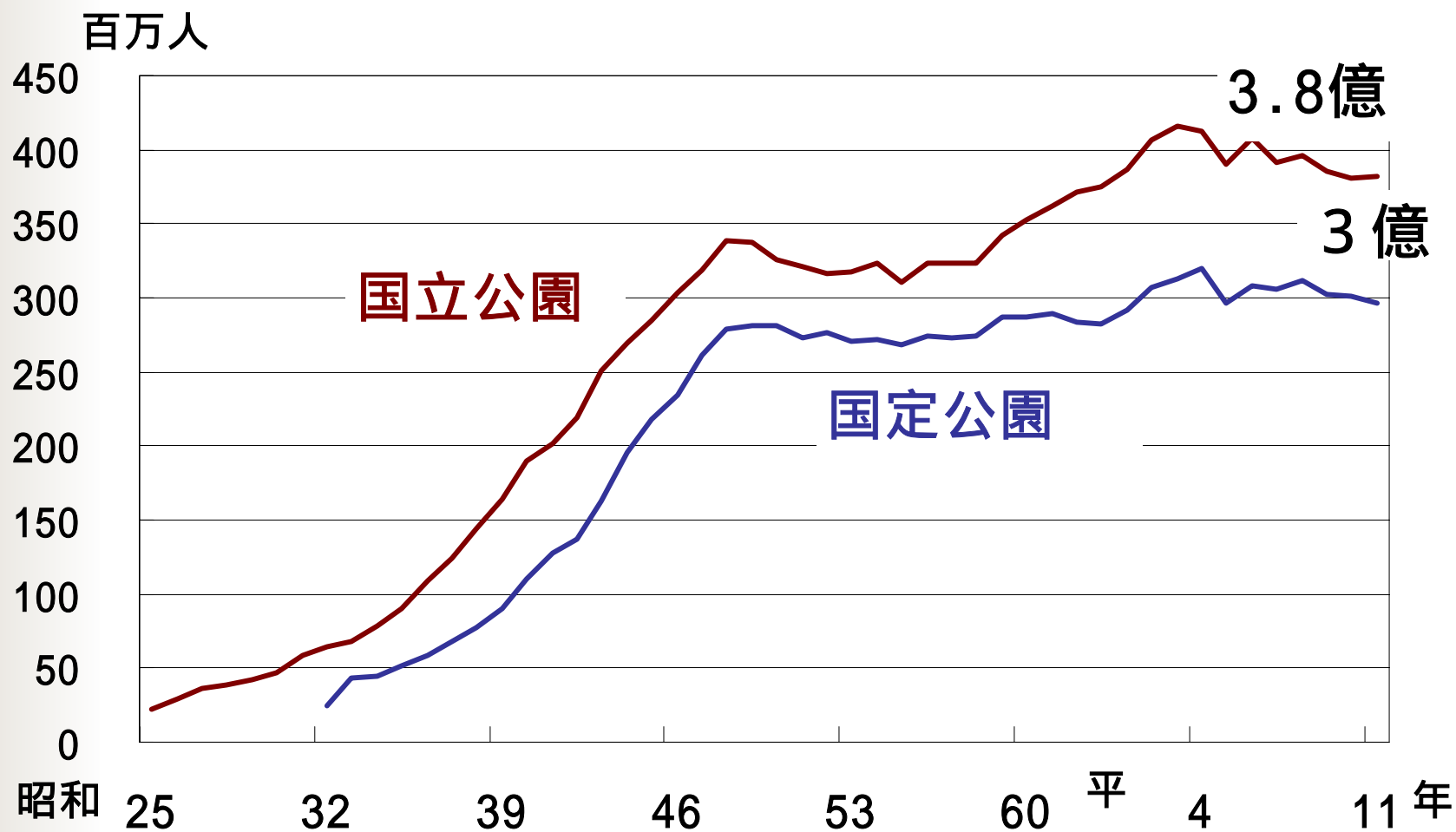
自然公園体系

種別	内容	根拠法	管理主体	公園数	面積(国土に占める割合)
国立公園	わが国を代表するすぐれた自然の風景地	自然公園法	国	28	205万ha (5.4%)
国定公園	国立公園に準ずる自然の風景地	自然公園法	都道府県	55	134万ha (3.6%)
都道府県立自然公園	都道府県を代表する自然の風景地	都道府県条例	都道府県	307	196万ha (5.2%)

国立・国定公園面積の推移

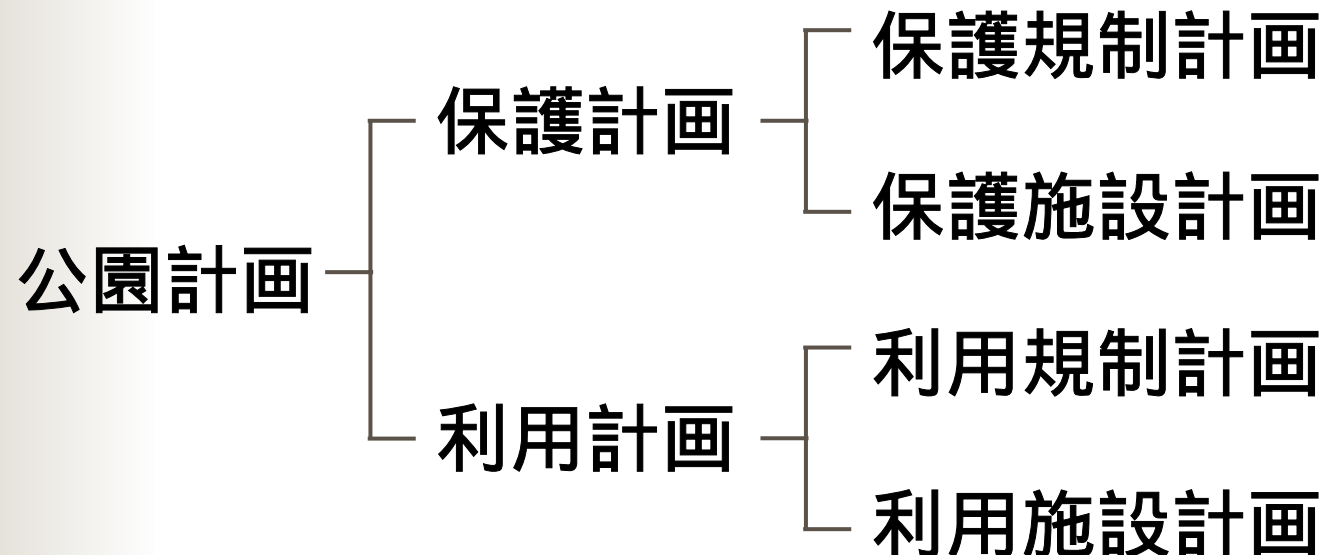


国立・国定公園利用者数の推移



公園計画の体系

- 自然公園では、公園ごとに自然風景の保護と適正な利用の促進を図るための**公園計画**を定め、**行為の規制**や、**利用のための施設整備**などを実施。



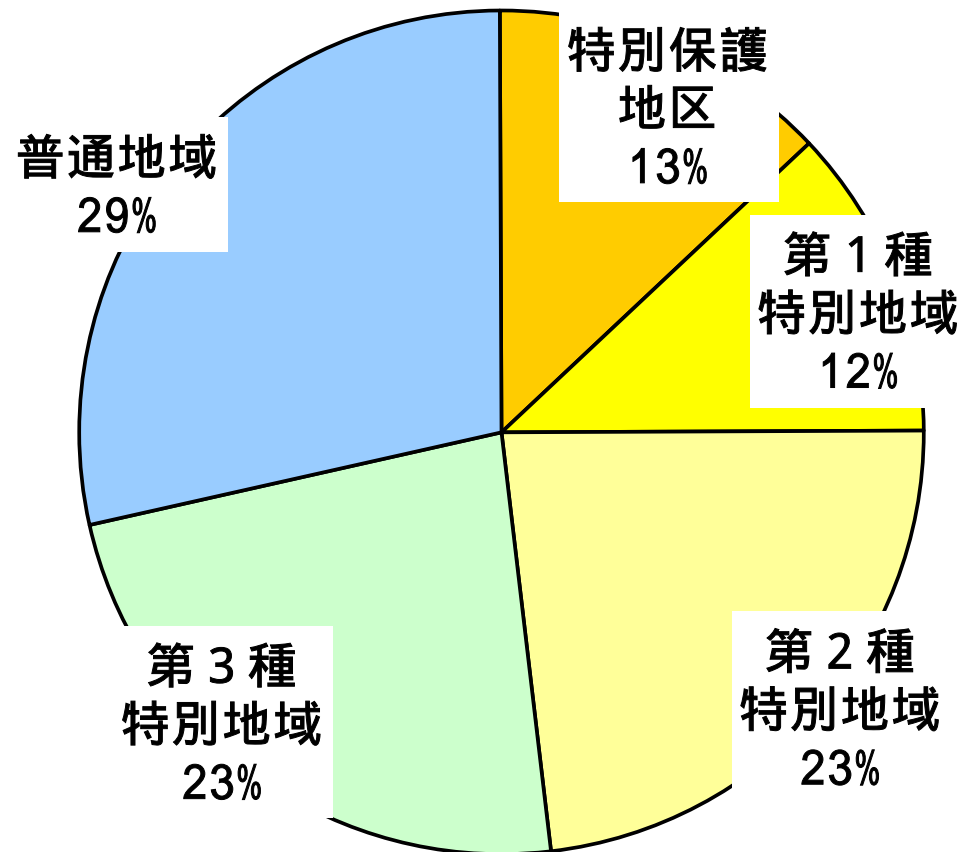
公園計画（保護計画）

保護規制計画：

- 特別地域**
- 特別保護地区：原生的景観を維持
 - 第1種特別地域：現在の風致を極力保護
 - 第2種特別地域：農林漁業活動と努めて調整
 - 第3種特別地域：通常の農林漁業を許容
- 普通地域**：特別地域以外の地域で風景の保護を図る
- 海中公園地区**：海中の原生的景観を維持

保護施設計画：植生復元、動物繁殖等の施設

国立公園地種区分別面積



計2,051千ha 特別地域の未区分のものは、便宜上第2種に算入

公園計画（利用計画）

利用規制計画：マイカー規制計画等

利用施設計画：

- ・ **集団施設地区**

公園の利用及び管理のための施設
を総合的に整備する地区

- ・ **利用施設**

園地、休憩所、車道、歩道、
ロープウェイ、ビジターセンター等

国立公園の事業の執行

公園計画（目的位置等の決定）



事業決定（箇所数、規模等の決定）



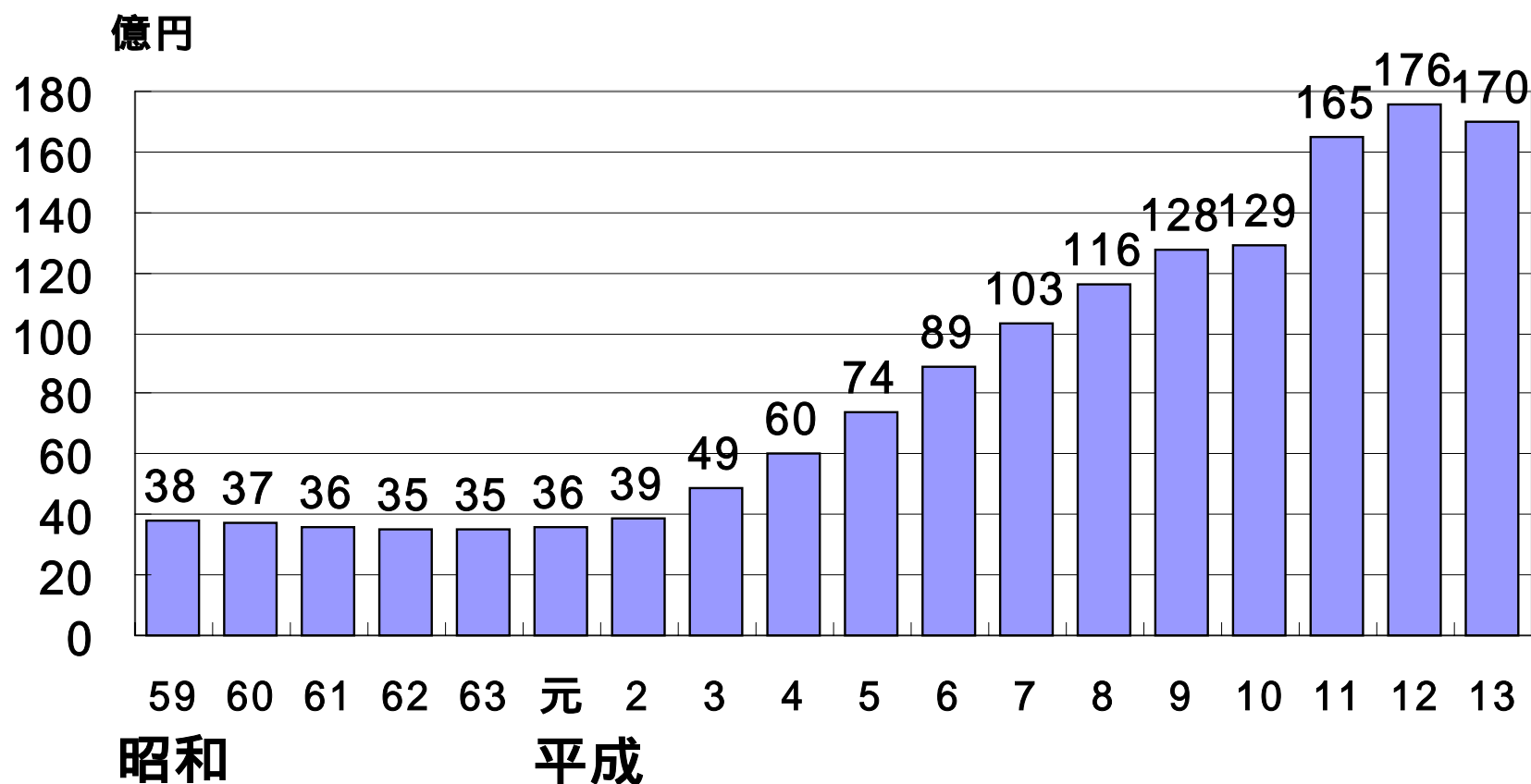
事業執行（詳細設計・管理運営）

環境省直轄事業

地方公共団体（環境大臣の同意）

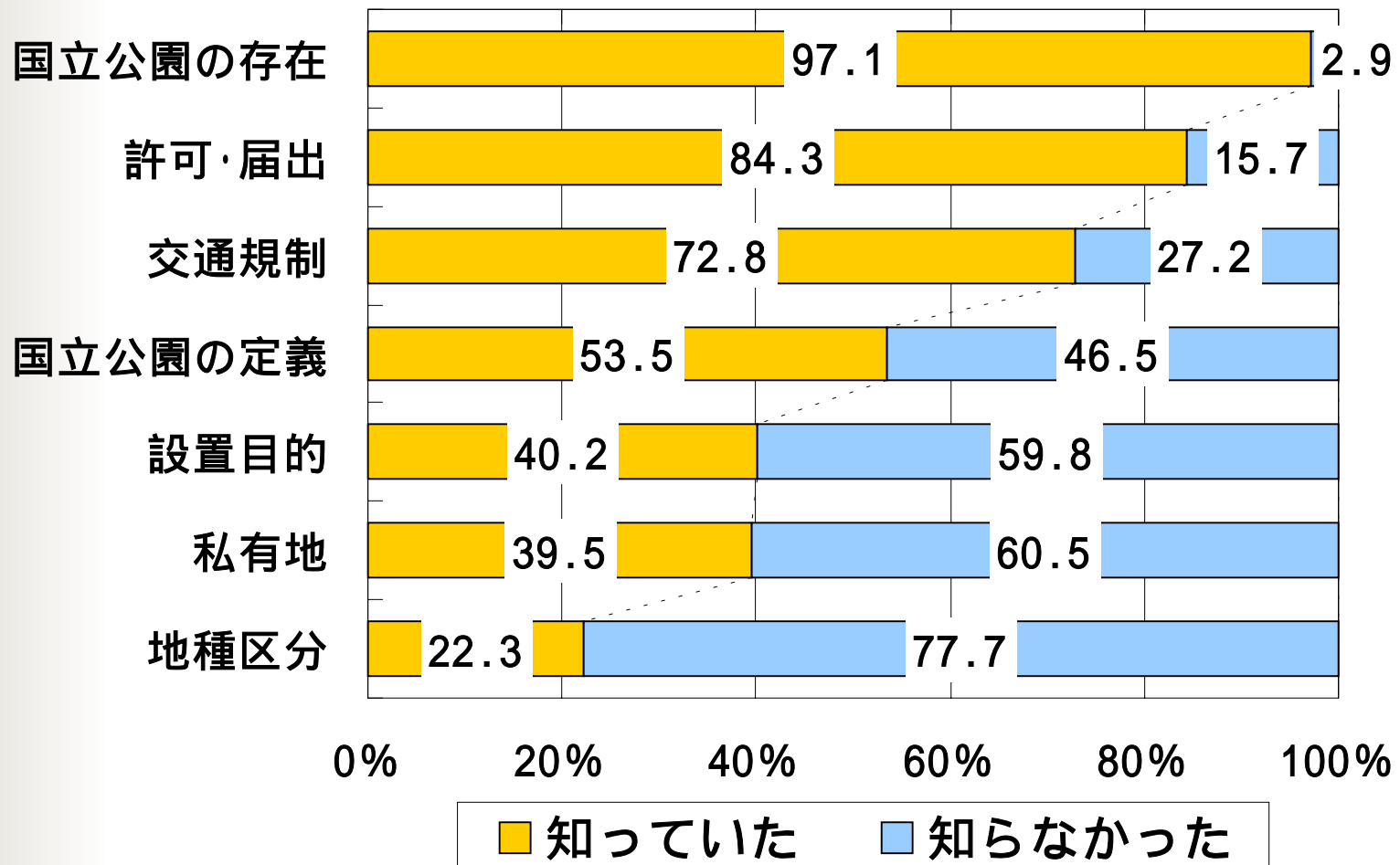
民間事業者等（環境大臣の認可）

自然公園等事業関係予算の推移

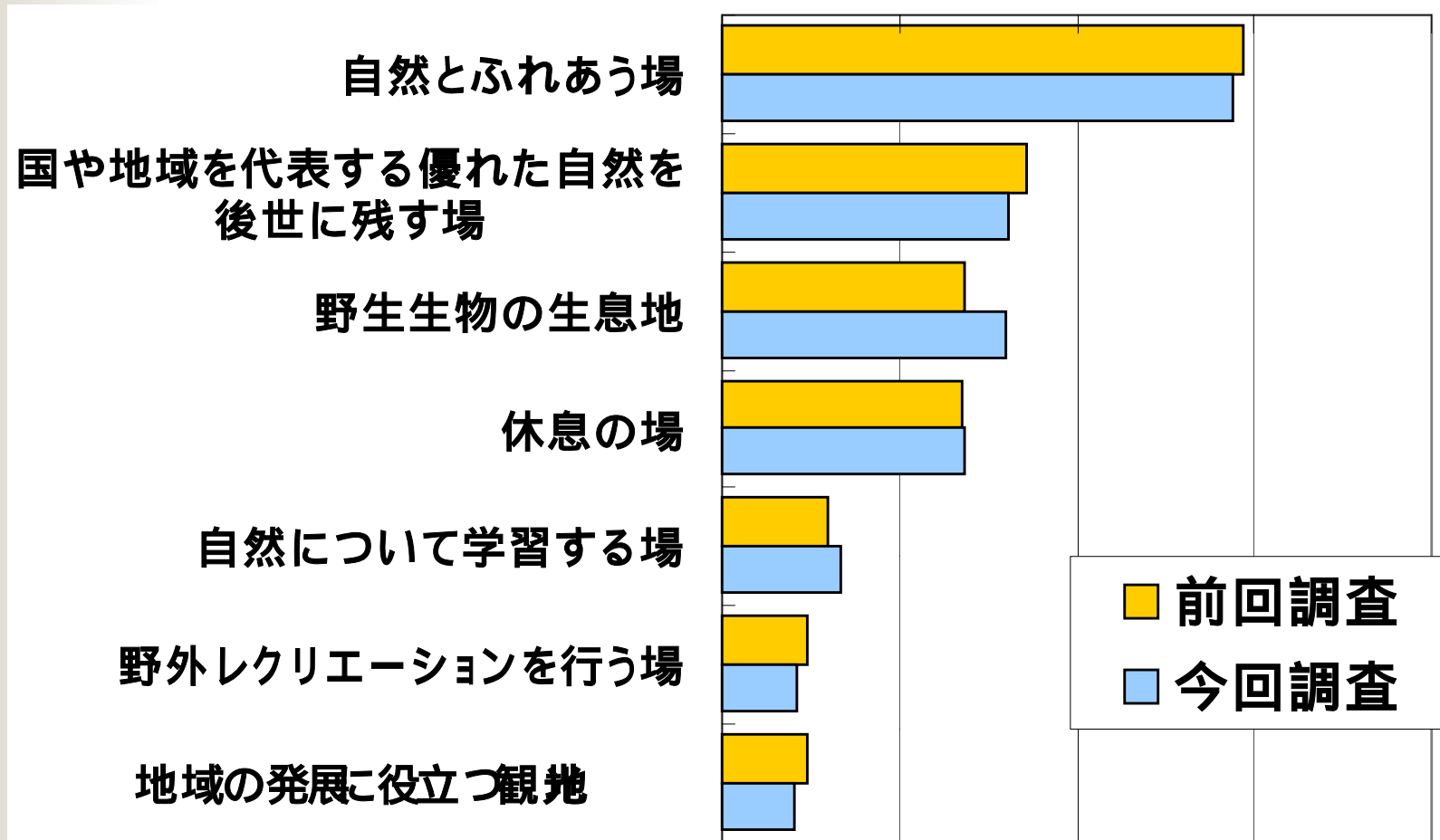


国民の国立公園像

国立公園の認知度



自然公園が果たすべき役割

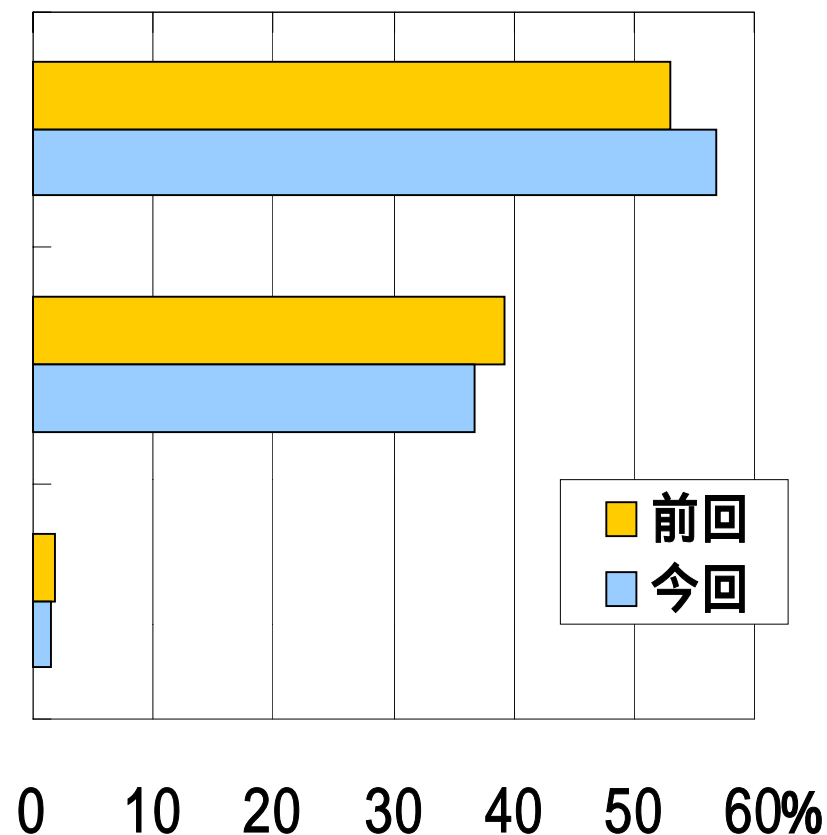


自然保護と観光開発

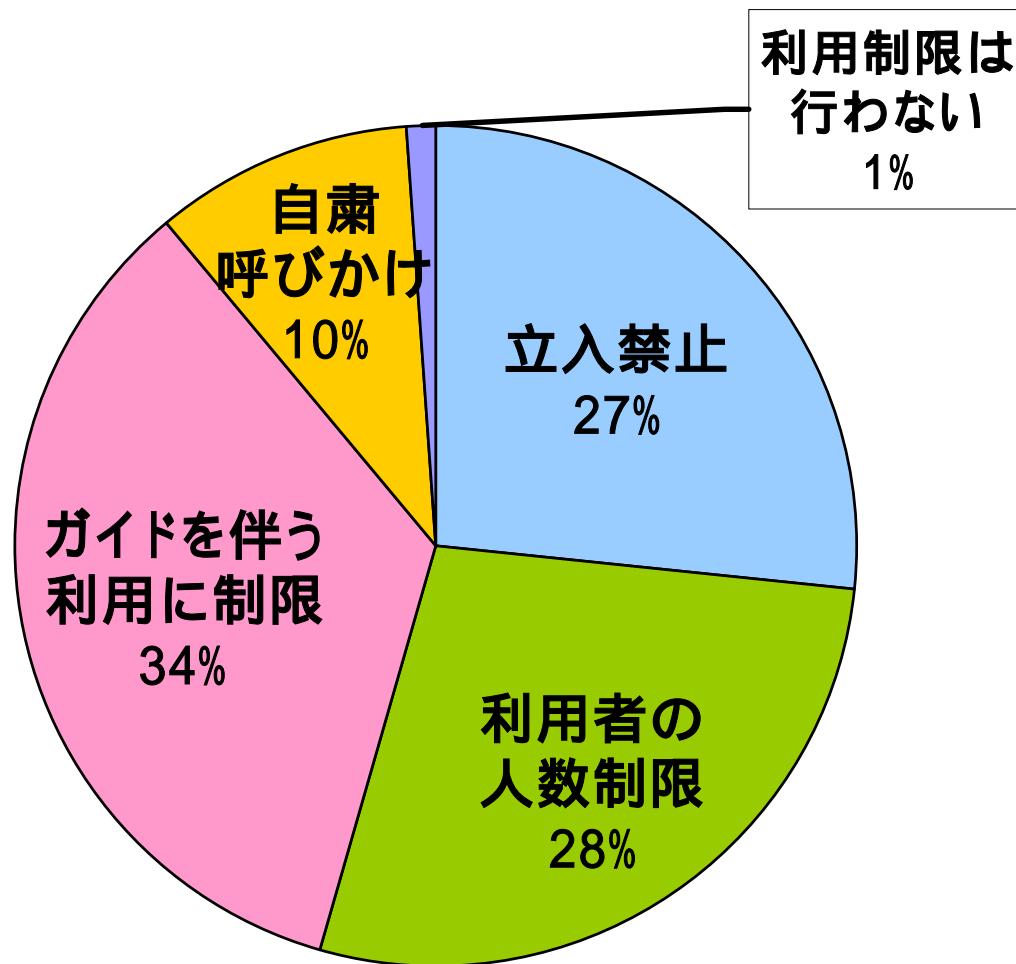
自然保護のために観光開発を行わない

ある程度の観光開発も図る

自然保護より観光開発を図る

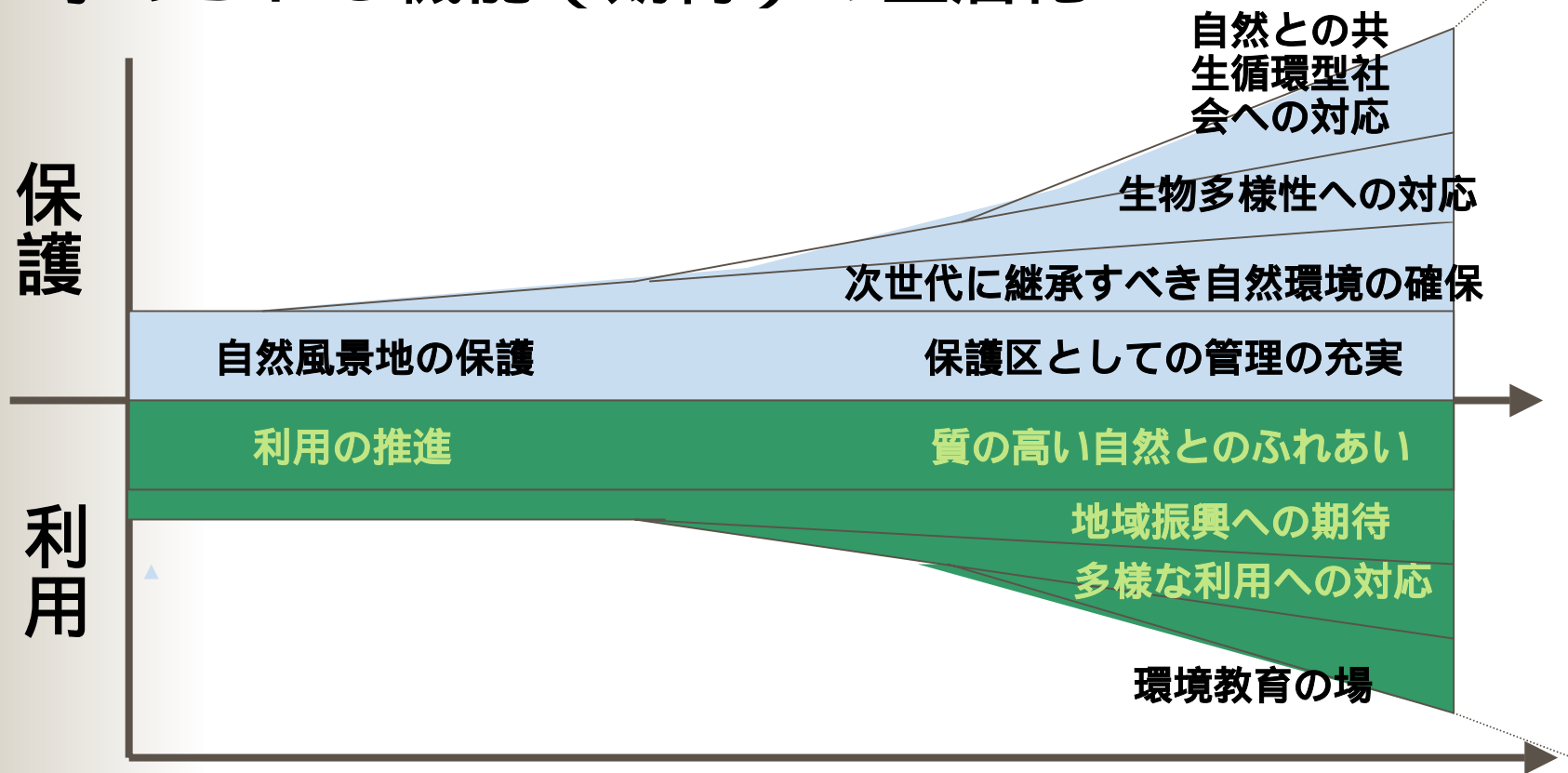


オーバーユースに対する措置



国立公園への期待

求められる機能（期待）の重層化



昭和9年



国立公園への期待

(1) 自然環境保全面への期待
生態系や生物多様性の場としての
保護区の役割への期待

二次的自然の保護など積極的な
維持、保全、修復、再生を行うことへの期待

自然環境の持続的な環境保全への期待



国立公園への期待

(2) 利用面への期待

風景、自然への関心の変化

利用施設の整備・管理への要求の変化

環境教育の場としての期待



国立公園の課題

< 国民に支持される国立公園に向けて >

1. 国立公園像の混乱

期待と実態の較差

2. 「地域制公園」制度

限界と可能性

緊急に検討すべき課題と事項

項目	課題	検討事項
保護	新生物多様性国家戦略に示される保護機能強化対応	風景保護に加えて生物多様性保全等、保護機能の強化
利用	奥地や島嶼などで生じている過剰利用対応	・適正利用のための方策(利用制限など)のあり方 ・山岳登山道等、自然公園施設の適正な整備のあり方
管理	管理対象、管理水準の拡大、向上要請への対応	パートナーシップの確立による公園管理の充実